

令和5年度 学校防災アドバイザー派遣事業実施校

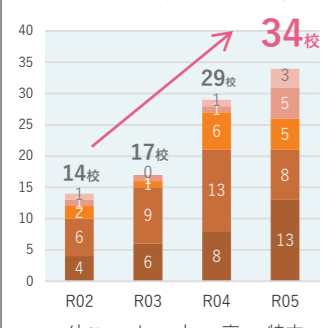
月日	学校(園)名
6月16日(金)	綾川町立陶小学校
6月21日(水)	高松市立桜町中学校
6月23日(金)	三豊市立高瀬中学校
6月29日(木)	高松市立屋島小学校
7月18日(火)	丸亀市立郡家こども園
7月24日(月)	長尾聖母幼稚園
8月01日(火)	三豊市立大見小学校
8月21日(月)	高松市立香西幼稚園
8月21日(月)	高松市立弦打幼稚園
8月28日(月)	香川県立高松支援学校
8月30日(水)	香川県立坂出工業高等学校
9月01日(金)	丸亀市立綾歌中学校
9月01日(金)	善通寺市立竜川幼稚園
9月08日(金)	香川県立聴覚支援学校
9月14日(木)	高松市立木太幼稚園
9月15日(金)	高松市立香西小学校

月日	学校(園)名
9月20日(水)	丸亀市立本島幼稚園
9月20日(水)	香川誠陵中学校・高等学校
9月20日(水)	高松市立多肥小学校
9月22日(金)	坂出市立東部小学校
9月26日(火)	高松市立大野小学校
10月03日(火)	香川誠陵中学校・高等学校
10月04日(水)	高松市立前田幼稚園
10月04日(水)	香川県立高松西高等学校
10月06日(金)	高松市立弦打小学校
10月11日(水)	観音寺市立観音寺中央幼稚園
10月11日(水)	丸亀市立飯山こども園
10月13日(金)	香川県立香川中央高等学校
10月13日(金)	坂出市立東部小学校
10月17日(火)	香川県立多度津高等学校
10月26日(木)	三豊市立詫間中学校
10月26日(木)	さぬき市立長尾幼稚園
10月27日(金)	マリア幼稚園
11月06日(月)	香川県立香川中央高等学校
11月10日(金)	高松市立弦打小学校
11月11日(土)	高松市立香西小学校
11月13日(月)	香川県立高松支援学校
11月14日(火)	香川県立香川丸亀支援学校
11月20日(月)	マリア幼稚園
11月24日(金)	三豊市立高瀬中学校
11月27日(月)	三豊市立大見小学校
11月29日(水)	香川大学教育学部附属高松中学校
12月01日(金)	高松市立香西小学校
12月18日(月)	三豊市立二ノ宮幼稚園

34校 44回派遣

(幼・こ13園、小8校、中5校、高5校、特支3校)

事業実施校数 (R02 ~ R05)



事業依頼内容 (R05)

実際の災害を想定した訓練になるように見直したい、という要望が多い。(27件/全44件中)

避難訓練等への助言、見直し等 27件

危機管理マニュアル等の見直し 19校

防災マップ作り等の防災教育への助言 9校

その他 5校

※1回の事業で複数の依頼内容あり

Q&A

学校防災アドバイザー派遣事業

Q1 事業を実施したいのですが、いつ申請すればいいのでしょうか？

4月中旬から5月頃に県内すべての学校(園)に要項が配付されます。その時に申請してください。

Q2 アドバイザーの交通費や謝金等は必要ですか？

必要ありません。すべて県教育委員会が負担します。

Q3 教員への研修も可能でしょうか？

可能です。近隣の学校(園)と合同で行うことも可能です。できる限り、学校(園)からの要望に応えることができるようにしています。

防災に関する参考資料

香川県教育委員会

○学校の地震防災対策マニュアル作成の手引き



地震編



津波編

○防災の手引き



香川県 危機管理課

○南海トラフ地震



南海トラフ地震の被害想定と対策を視覚的にまとめた映像資料等が掲載されています。

○地震・津波被害想定(公表資料集)



南海トラフ(最大クラス)の震度分布図、液状化危険度予測図、津波浸水想定図や津波シミュレーションCG等が掲載されています。

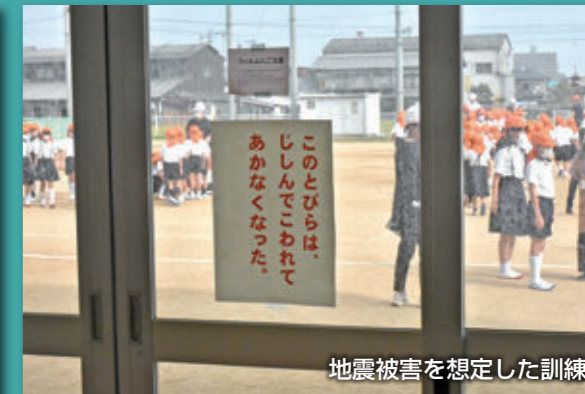
令和5年度

学校防災アドバイザー派遣事業

学校安全総合支援事業
(文部科学省委託事業)



近隣幼稚園、小学校合同で津波想定訓練を行う



地震被害を想定した訓練



災害時の校区危険箇所を調べる

学校防災アドバイザー派遣事業とは

防災の専門家を学校に派遣し、防災体制の整備や防災教育の充実を図ることをねらいとしています。

派遣講師

- ✓ 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
- ✓ 香川県防災士会所属防災士
- ✓ 日本技術士会四国本部所属技術士
- ✓ 高松地方気象台職員

令和5年度の報告書(全体)や過去の報告書はこちら



○香川県教育委員会ホームページ
「学校防災アドバイザー派遣事業」
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/hokentai/iku/anzen-hoken/anzen/bousaihaken.html>

令和6年1月1日、能登半島で最大震度7を観測した地震が発生しました。地震による津波や家屋の倒壊、大規模火災の発生等、改めて自然災害の恐ろしさを感じました。我が国は、近い将来に発生が懸念されている南海トラフ巨大地震、激甚化・頻発化する豪雨、台風などの計り知れない自然災害のリスクに直面しています。

このような中、学校は、児童生徒等が生き生きと活動し、安心して学べるようにするために、児童生徒等の安全の確保が保障されることが大切です。本報告書により、改めて学校における安全、安心とは何か、児童生徒等が安全、安心に生活できる学校とはどのようなものなのかを問い直すきっかけになれば幸いです。

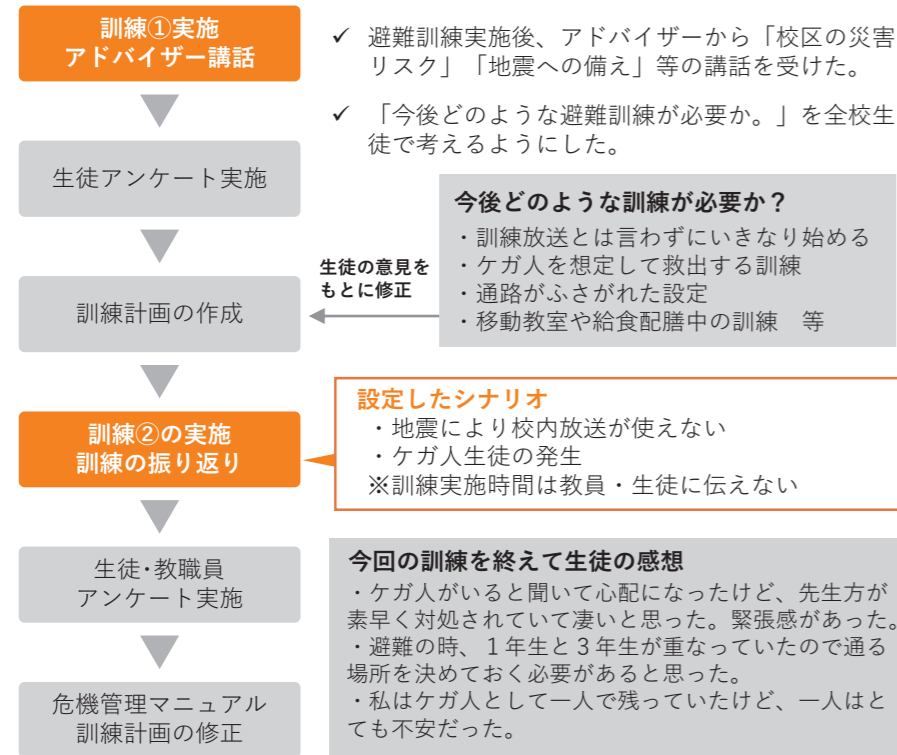
香川県教育委員会では、平成24年度から、希望する各学校(園)等に防災の専門家を派遣し、要望に応じて危機管理マニュアルや防災教育、より実効性のある避難訓練に対する助言、地域と学校との連携体制への助言等を実施してきました。

本報告書は、今年度の取組みの紹介や成果等をまとめたものです。各学校(園)におかれましては、それぞれの実態に応じてご活用いただき、各学校(園)の取組みの一助としていただきますようお願いいたします。

実践事例1 実効性のある避難訓練に向けた取組み

…アドバイザー事業を活用した活動

三豊市立高瀬中学校（2回実施）



○訓練後に気付いた課題

地震への初期対応・誘導

- ・生徒が机の脚を持っていない。
- ・教師が教卓の下に入るスペースがない。
- ・揺れているとき、教師は積極的に生徒に「大丈夫！」等の声かけをする。

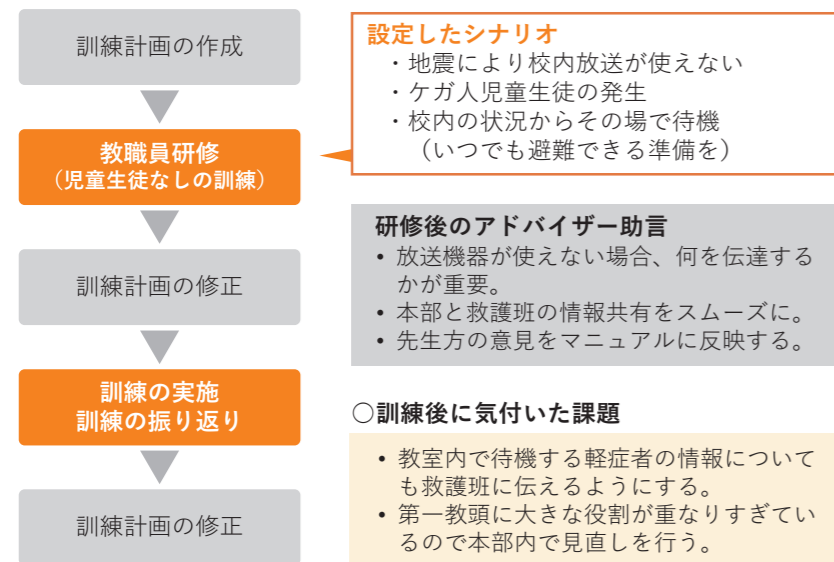
放送機器が使えない場合の対応

- ・指示を出す人は定位置で動かず、聞こえた先生が次々に声を出して伝えるようにする。
- ・訓練時は美術室や音楽室などに指示が聞こえていなかった。聞こえた指示を教室に伝えてくれていた先生もいた。

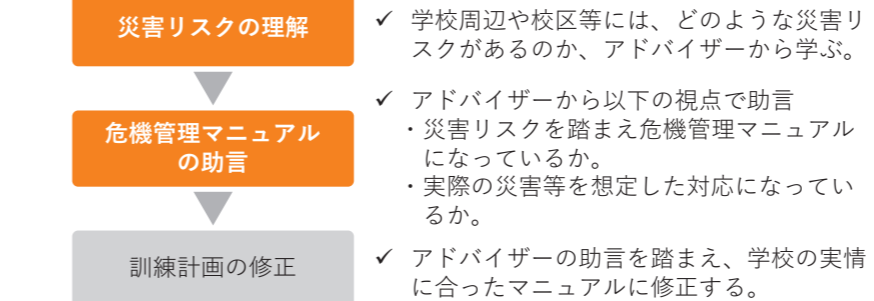
負傷者を発見した場合の対応

- ・第一発見者が、避難場所に向かって直接声かトランシーバー等で発見したことを伝える。負傷生徒をできる限り一人にしない。
- ・担架搬送の練習が必要。

香川県立高松支援学校（2回実施）



実践事例2 校区の災害リスクを踏まえた危機管理マニュアルの見直し

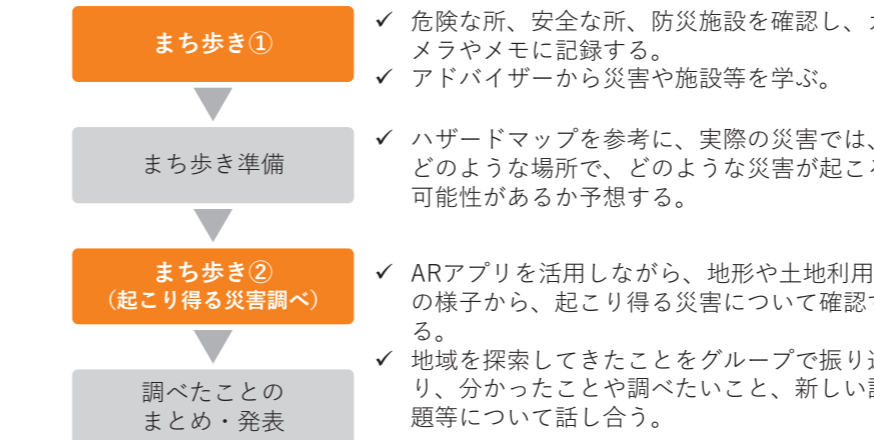


学校からの声

- ・水害の危険性は知っていたが、どの程度のものなのか、具体的な数字を聞き、とてもよく分かりました。また、ため池の決壊や液状化のリスクもあることをよく分かりました。
- ・小学校の対応と中学校の対応が違っていれば、生徒や保護者が困惑する。近隣（校区）の学校同士で対応を共有する機会が必要だと思いました。

実践事例2 地域と連携した防災教育

坂出市立東部小学校（2回実施）



学校防災アドバイザー派遣事業推進委員会

推進委員

長谷川 修一（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）		
白木 渡（香川県防災士会）	廣瀬 尚子（香川県立香川中部支援学校）	
葛西 剛（日本技術士会四国本部）	西城 伸二（香川県PTA連絡協議会）	
三谷 一秀（危機管理課）	大北ゆうこ（さぬき市教育委員会）	
長尾 剛司（高松市消防局）	藤川 由香（坂出市教育委員会）	
藤井 美紀（高松市川島こども園）	川内 佳代（丸亀市教育委員会）	
森山 敬三（丸亀市立城西小学校）	中川 卓（東部教育事務所）	
日下 利男（東かがわ市立引田中学校）	片岡亜貴子（西部教育事務所）	
藤原 裕樹（香川県立観音寺総合高等学校）	渡邊 浩司（香川県教育委員会事務局保健体育課）	

第1回会議：令和5年6月5日（月）
第2回会議：令和6年1月12日（金）

- ・事業を実施している学校の避難訓練が、実効性のある訓練に変わってきている。特に、生徒の意見を踏まえて訓練を見直す取組みはぜひ県下に広げたい。
- ・小学校や中学校の事業実施時に市町教育委員会や危機管理担当部局が参加している事例もある。各学校のPDCAサイクルに行政が積極的に参加する仕組みづくりが必要。
- ・毎年、事業を実施している学校は、危機管理マニュアルや訓練を継続的に見直す文化ができてきている。一方で、そうでない学校も多くあるため、学校差、地域差をなくすために、本事業をどう工夫するかが求められる。
- ・いかに好事例を広げることができるかが重要で、県と市町が連携して発信してほしい。